

報告

NPO法人産業技術活用センターのこれまでと今後

理事・事務局長 野尻 昭夫

当NPO (2004年9月設立) の使命
経済の活性化に貢献したい。

1 新産業創出

ベンチャーの支援

スピノフ支援

具体的活動 ?

メンター事業へ

2 中小企業活性化

資源の流動化

技術移転(企業発技術)

ビジネスマッチング

(3 知的財産の普及・啓蒙)

熟年人材活用

セミナー事業

NPOの現状 (設立 2004年 9月)

NPOの現況会員 22名

登記事務所 所在地 〒140-0013
東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル 1階
電話 03-6404-6280 メール info@npoitec.jp

NPOの理事・監事

(初代理事長 鳴戸 道郎 (2009年 没))
理事長 遠藤 誠 (元日立国際電気社長)

理事	東出 浩教 (早稲田大学ビジネススクール教授)
理事	梅原 潤一 (アルプス電気法務担当役員 元IPTJ社長)
理事	三好 秀和 (三好内外国特許事務所会長、弁理士)
理事	木嶋 豊 (IPアライアンス社長 元政投銀)
理事	中村裕一郎 (上武大学教授 元富士通)
理事	恩田 統夫 (前ユシロ化学常勤監査役 元住友銀行役員)
理事	野尻 昭夫 (NPO事務局長、元早稲田大学客員教授)
監事	石綿 宏 (ASMLジャパン代表取締役社長 元住商)

ご支援頂いた機関

経産省殿の補助事業

スピンオフ研究会(2004年)
早稲田大技術移転促進研究会 中総研中小・ベンチャー研究会(2004、
2005年)

関東局 大学メンターネットワーク形成事業(2007年) 新事業支援ネットワー
ク拠点重点強化事業(2008年)

自治体との連携事業

神奈川県大学・企業保有技術事業化調査(2007年)
横浜市川上川下連携事業(2009年、2010年)
東京都提案公募型産業交流促進事業(2012年)
品川ビジネススクラブ委託事業(2013、2014年)
横浜企業経営財団委託事業(2014年)

大学等との連携事業

山口大学、千葉大学、電力中央研究所

1.1 技術移転事業について 毎年1回見本市開催

技術見本市のシーズ提案件数

年度	件数	内特許	提案企業
2005	5		松下電工、NTTAT、エプソンインテリジェンス、富士通、三菱化学エンジニアリング
2006	4		日立、住重、富士通研、山口大
2007	4		日立、富士通、電力中研、山口大
2008	4	1	富士通、電力中研、聖マリアンナ医科大
2010	4	1	富士通、電力中研、ユシロ化学
2011	4	3	富士通、早稲田大
2012	41	20	日立、富士通、トクヤマ、トプコン、産総研、東芝、東芝エレベータ、東芝機械、芝浦メカトロにクスニフコ、東洋熱工業、X社（東京都補助事業）
2013	18	18	富士通（品川BCに協力）

2 大企業技術の移転について

現在までの技術提供企業

○三菱化学エンジ、富士通研究所、エプソンインテリジェンス、松下電工
NTTアドバンステクノロジー 日立製作所、住友重機械、富士通、アルプス電気 ◎電力中央研究所、
ユシロ化学工業、○山口大学、聖マリアンナ医科大学
早稲田大学、産総研、東芝、トプコン、芝浦メカトロニクス、トクヤマ、ニフコ、東洋熱工業(2012年前述)

ITECの技術移転（共同研究移行）実績

樹脂フィルム厚さ測定ソフト

チタンの表面硬化技術

セリア触媒によるVOC除去技術

非侵入モニタリングシステム

技術移転事業を通しての結論 手間と時間がかかる。
技術提供企業多くない。
HPを見て引き合いある。

3 中小企業技術のビジネスマッチング支援事業（メンターの人脈を活用、中小企業技術を大企業に紹介 当NPOの得意技）

●横浜市工業会連合会委託（2009、2010年度）

横浜市の中企業の製品・技術の大企業への紹介
2009年 大企業 12社に対して 中小企業54社のプレゼン
2010年 10社 22社

●東京都産業労働局商工部補助事業（2012年）

東京都の中企業の製品・技術の大企業への紹介
（2012年 大企業14社に対して 中小企業 26社のプレゼン）

大企業技術・特許の都下の中小企業への紹介
（同年 大企業技術 41件 約30社・10団体に紹介）

●品川ビジネスクラブ委託（2013年）

大企業ニーズと中小企業シーズのマッチング事業
（大企業技術シーズのマッチング 大企業2社に10社を紹介
大企業技術 18件を 中小企業30社に紹介）

●横浜IDEC委託（2014年）、品川BC委託（2014年）

4 技術移転事業の総括

1、大企業技術 → 中小企業

成功例 4 件 事業化例 1 件 容易でない。
特許移転では上手く行かない。
大企業サイド意欲なし。

2、中小企業技術 → 大企業

技術マッチングは盛ん
オープンイノベーションと 中小企業技術先端化
(委託事業中心)

(3、中小企業技術 → 中小企業)

開拓すべき新分野
技術マッチング・・・部分的収受
事業承継、M&A・・・全体的収受

5 技術移転事業の今後の展望

	社会貢献	収益性	参加への興味	総合的
大企業技術	5	2	1、2	3
改善後		3	2	5 HOW ? 効率化、広報
中小・大企業技術 マッチング		2-3	2 (基本は委託)	5
改善後		4	3	7
考慮点		(M&Aを扱う)	(自主事業化)	自主的中・中マッチング 成功事例

2.1メンター事業について

日本経団連起業創造委員会のメンター研究会(2006年開設)が母胎

関東経済産業局殿の補助事業が設立サポート

最初大学発ベンチャーの支援から始まり、民間企業へと
展開
制度設計、諸規約の整備、メンター募集へと

ITECメンタークラブ発足(最近経営者メンタークラブと改称) (遠藤 誠代表)

2009年2月に自立

目標 : 売上100億円企業 100社創出

特徴 : ボランティアのメンター(別紙)による無償の支援
(主として元経営幹部)

年5回の交流会で体験メンタリングを経て、メンティ会員へ

1回のメンターの自主研修会(勉強会)

メンターの守るべき規範を設けている。

これまで100社以上の交流会参加(メンティ会員36社)

2.2当メンターのメンタリングのイメージ

孤独な経営者のサポート役



(メンター)

現実対応サポートと理想 (成長) の追及サポート

サポート

? 選択の迷い ?
(事業計画! 予算! 人事!)

社内対立!
計画の遅れ !



家族の問題 !
健康問題 !

孤独な経営者

高度の助言

- ・誰にも言えない事
- ・選択の迷い
- ・暗黙の支援、継続的動機づけ
- ・同族、家族、相続
- ・仲間割れ、社内対立
- ・資本政策、事業転換
- ・継続、拡大、終息の決断
- ・ビジネス倫理

3.1 推移

2013年度の交流会状況

時期	新規参加企業数	登録メンティー参加
4月6日	3名(社)	9名(社)
7月5日	6名	9
10月3日	9名	10
12月9日	9名	14
2月6日	6名 計33名	11 計53

2014年度の交流会状況

時期	新規参加企業数	登録メンティー参加数
4月10日	7名	15名 (社)
6月5日	6	15
10月2日	1	12
12月4日	3	16

3.2 推移

メンティー会員（メンターもち）の推移

年度	会員数	年度	会員数
2009	13	2012	24
2010	16	2013	30
2011	19	2014年12月	36

メンター会員の推移

年度	会員数	年度	会員数
2009	13	2012	43
2010	24	2013	47
2011	29	2014年12月	46

現在のメンティー会員企業 ○印：ベンチャー

No	企業名	事業内容	no	企業名	業容	no	企業名	業容
1	旭通信	通信工事	12	クズミ電子	・情報通信機器の受託開発及び製造	25	システムプロダクツ	電子基板設計
2	富士オートメーション	大手通信企業関連通信機器製造	13	八洋	精密加工品	26	トリロバイト	電子機器、医療機器
3	テクノデザイン	半導体搬送装置 基盤設計、電子機器製造、販売	14	(OD 設 計) ウルシ	上下水道施設設計	27	東成エレクトロ ビーム	微細加工、レーザー溶接
○4	ミドクラ	通信ネットワーク構築	15	安井建築設 計事務所	病院、学校等建築設計	○ ₈ ²	クラシックタイム	医療データベース
○5	アイエス ゲート	多言語問診システムソフト開発など	○16	ケイレック ス	半導体製品開発、組み込みソフト	29	kdts	システム開発、通信設備
○6	シンテック	NT合金医療応用	17	インターモ ダル	航空輸送コンサル	30	ビジコムジャパン	試薬及び製造原料の輸入販売
○7	シンプレック	数式ソフト	○18	WSCOPE	リチウムイオン電池用セパレータ製造販売	○31	インストアメディア	トラベルカフェなどのブランドビジネス
○8	フューテックス	高圧電源 軟X線発生装置	○19	ブロードバン ドジャパン	ソフト系（インター ネットコンサル、WEB システム）	○32	マキシマイズ	外国ソフト販売
9	三共光学	光学機器	20	ミニモ	電子応用機器	33	北川電機	電源トランス
10	エーベルバ イオクリーン	国内中国での特 殊洗剤販売	○21	クレアンスメ アード	ポイント交換システム	34	エスイー	電子機器製造
○11	フィルカンパ ニー	ビル付き駐車場	22	ベストウィン グ	建設	35	MTコンサルタント	特殊合金
12	トライヤーン	工業用刃物の製販	24	ミラック光学	光学機器	○36	バーチャルハーモ ニー	地熱発電、画像処理

4 メンター事業の総括

- 1、メンティー増加 現在36社 年度末40社予定
- 2、メンター数は伸びていない。現在46名（アクティブ39名）
- 3、メンティー集めをさらに積極的に進める必要あり
- 4、メンター・メンティー会合数 月間 20件程度
- 5、メンター各位のご努力に感謝申し上げます。

5 メンター事業の今後の展望

	社会貢献	収益性	参加への興味	総合的
現在メンター事業	5	2、3	3	6
改善後		4	4	8
考慮点		ベンチャー支援	人材を募る	前向きメンター募集 認知度向上を計る 成功事例

御清聴有難うございました。

NPO法人産業技術活用センター